# 平成 24 年度　事務事業事後評価調書（平成　23　年度事業）

| 整理番号 | 5 － 13 |
|---|---|

## 1　事務事業の表示

※　■　：　該当

| | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 事務事業名 | 広域紋別病院企業団運営事業 | | | | | |
| 評価者 | 担当課名 | | 保健福祉課 | 担当係名 | | 保健係 |
| | 管理職 | 職名 | 課長 | 作成者 | 職名 | 係長 |
| | | 氏名 | 山崎佳之 | | 氏名 | 佐々木希美枝 |
| 事業の概要 | 西紋地域の二次医療・救急機関である広域紋別病院の安定運営を図り、本町町民を含む西紋地区住民の医療体制の充実を図るため、西紋5市町村の広域で運営する広域紋別病院企業団の経費を負担する。 | | | | | |

| 全体計画 | /単年度繰返 |
|---|---|
| （平成 22 年度～ 24 年度） | |
| 事業費 国・道支出金 | 千円 |
| 地方債 | 千円 |
| その他 | 千円 |
| 一般財源 | 1,161 千円 |
| 事業費計 | 1,161 千円 |

| | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 実施方法 | ■ | 直営 | | 民間委託 | | その他（　） |
| 第５期総合計画（前期） | ■ | 登載事業 | | 非登載事業 | 優先度 | A |

| | | | |
|---|---|---|---|
| 事業の位置付け | 政策目標 | 2 | ぬくもり・雄武～保健・医療・福祉の充実～ |
| | 基本施策 | 6 | 保健・医療の充実 |
| | 単位施策 | 5 | 地域医療体制維持の確立 |
| | 事務事業の種類 | ■ | 自治事務　　法定受託事務 |
| | その他計画・根拠等 | | |

| 事業費 | 実施年度 | 20年度（実績） | 21年度（実績） | 22年度(実績) | 23年度(実績) | 24年度(見込) |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | 国・道支出金 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 |
| | 地方債 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 |
| | その他財源 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 |
| | 雄武町負担額（一般財源） | 千円 | 千円 | 169 千円 | 185 千円 | 460 千円 |
| | 合計 | 千円 | 千円 | 169 千円 | 185 千円 | 460 千円 |

## 2　事務事業の目的・内容（Plan・Do）

| | |
|---|---|
| 【誰、何が（対象）】 | 町民 |
| 【抱える課題やニーズは】 | 二次医療・二次救急を必要とする疾病・事故に対する医療を日常生活圏域の近隣内で受けることができる体制が必要である |
| 【どのような状態になることを目指したのか（意図）】 | 専門医療・事故発生時、症状に応じて適切な医療を受けることができる |
| 【その結果、どのような成果を実現したいか】※成果＝目的 | 日常生活圏域近隣内で専門医療を受ける機会が増え、救急搬送・救急対応に要する時間が短縮されることで救命率は向上し、後遺症残遺率は改善される |

望ましい指標（目的達成状況を最も端的に表す理論上の成果指標）

広域紋別病院（西紋圏域二次医療・救急機関）の安定運営

| 指標（指標計算式／解説） | 目標値及び実績値 | |
|---|---|---|
| ① 二次医療・救急機関の確保 | 目標年度 | 平成23年度 |
| | 目標値 | 1 施設 |
| | 実績値 | 1 施設 |
| | 達成度 | 100.0 % |
| ② | 目標年度 | |
| | 目標値 | |
| | 実績値 | |
| | 達成度 | % |

| 内容（どのような手段で何を行ったか） | |
|---|---|
| 広域紋別病院企業団運営費の負担 | 企業団運営にあたる西紋5市町村の按分に基づき、議会・監査経費を負担した。 |
| | |
| | |

## 3 事務事業の評価（Check）

（1）事務事業の必要性（町民ニーズ・社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか。当該事務事業を実施しない場合の支障、既存事務事業との機能重複や見直しによる対応可能性）

| | | |
|---|---|---|
| **必要**<br>必要／概ね必要／課題あり | □義務的なもの<br>□全部<br>□一部 | 広域紋別病院は町内医療機関との連携のもと、西紋地区の二次医療・救急機関としての体制整備が必要である。 |

(2)事務事業の有効性（期待する効果が得られたか）

| | | |
|---|---|---|
| **有効**<br>有効／概ね有効／課題あり | 設定した目標値の達成状況<br>■達成<br>□ほぼ達成<br>□下回る | 広域紋別病院の開設、運営により西紋地区の二次医療・救急医療体制の強化が図られた。 |

(3)事務事業の効率性（コストに見合った効果が得られたか、計画上のコストを下げる工夫をしたか）

| | | |
|---|---|---|
| **効率的**<br>効率的／概ね効率的／課題あり | 判断の理由<br>■事業費抑制<br>□人員削減<br>□時間短縮・作業軽減<br>□その他 | 西紋5市町村の広域運営により効率的な運営が期待できる。 |

(4)事務事業の公平性

| | | |
|---|---|---|
| **公平**<br>公平／概ね公平／公平でない | 判断の理由<br>□受益者負担がある<br>□受益者負担がない<br>□受益が一部に偏る<br>■その他 | 二次医療、眼科等専門医療を必要とする場合は全ての町民が広域紋別病院を利用することができる。 |

## 4 総合評価【A～D】

A：計画通り事業が進んでいる。目標が達成された。今後も計画通り事業を進めることが適当　等
B：ほぼ計画通りに進んでいるが目標に達成していない。事業の進め方に改善が必要　等
C：当初の計画を達成できていない。事業規模、内容、実施主体等の見直しが必要　等
D：事業効果が表れていない。事業の統合、休・廃止の検討が必要　等

| 自己評価（一次評価） | 評価会議評価（二次評価） | 町長評価（三次評価） |
|---|---|---|
| A | | |
| 計画通り広域病院が開設され、安定的な運営に寄与することができた。 | | |

**今後の展開方向**
（Action）

| | | |
|---|---|---|
| **継続／現状維持** | | |
| 今後も西紋5市町村の協力関係のもと、二次医療・救急体制の維持のため、広域病院の運営を図る必要がある。 | | |

＊展開方向の区分
○ 継続／現状維持又は拡充又は縮小又は統合又は内容の見直し・変更　○ 終了　○ 休止　○ 廃止

## 5 その他特記事項（アンケート調査など外部評価を受けた場合は、その旨記入）